

■【トピックス】
コロナ変異株！



コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言が再延長されました。対象地域は首都圏1都3県です。対象地域だけでなく経済的な打撃は日本全国に及びます。その大きさははかり知れません。今のところ打つ手なしですね。

ここにきてワクチン頼りになっていますが、国際的な奪い合いでその供給量も見通せません。その上、ワクチンが効果的でない変異株の日本での拡大も気になります。

■【ビジネス・アイ】
情報セキュリティマネジメント！

社長 「そういえば、前にみずほ銀行のATMで通帳とかカードが戻ってこないという障害が報道されていたね。最近は情報漏洩とかITに関するトラブルが多いね」

花野 「そうですね。ITに関するインシデント(事故)が多いですね」

社長 「そういえば、前にホンダがウイルス攻撃を受けて3週間業務が止まったというのもあったね」

花野 「1,000社以上の上場会社が外部からのランサムウェアによる攻撃を受けて、身代金を請求されたりしているようですね」

社長 「上場会社ならそれなりにセキュリティもしっかりしていそうだけど、それでも被害にあうんだね」

花野 「そうなんですよ。今後は情報セキュリティが大企業だけでなく中小企業でも重要になります」

社長 「そういわれても中小企業でもできる何かいい対策ってあるのかなあ？」

花野 「まずは、情報セキュリティを確保するための情報セキュリティマネジメントを確立する必要がありますね」

社長 「その情報セキュリティマネジメントって、どういうことをするの？」

花野 「具体的には情報セキュリティへの脅威に対してリスクマネジメントを行うことですね。また、組織的な意識を高めるために情報セキュリティポリシーを作成したりします」

社長 「一度、担当者に検討させてみるよ」

■【今月のキーワード】
情報セキュリティマネジメント

情報セキュリティマネジメントとは、情報セキュリティに対する脅威から継続的に組織を守るための計画・運用・評価・改善を行うことをいいます。組織の意識を高め情報漏洩のリスクを低減し、インシデントが発生しても適切な事後対応で被害を最小限に食い止め、より安全で積極的なIT利用を実現します。独立行政法人情報処理推進機構が情報セキュリティマネジメント人材育成のために、平成28年から国家試験として情報セキュリティマネジメント試験を実施しています。

■【今月の1冊】
『世界は贈与でできている』

近内 悠太 著
ニュースピックス ¥1800

資本主義社会では、合理的な経済人を前提に「交換」が行われることが政策決定の基礎となっています。

しかし、社会的な動物である人間の社会は生まれた時から贈与で成り立っています。経済的な格差が開ききった今こそ「贈与」に基づく倫理を見直すことを勧める1冊です。コロナ禍を生きるヒントになるかもしれません。



■【編集後記】

コロナ禍で迎える2度目の春ですが、コロナウイルスに関係なく花粉は舞います。花粉症持ちの身としては、コロナウイルスよりも花粉が気になる生活を送っています。花粉もコロナウイルスも早く収束して欲しいものですね。

『経営のセカンド・オピニオン』 vol.169(毎月1日発行)

●定価：2400円/年 ●発行日：2021.4.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエムビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808